

・形容詞の語幹の用法

名詞(A)＋を＋形容詞の語幹(B)＋み

↓AがBなので

※「名詞(A)」・「を」は省略されること
がある

〈例〉AをBみ↓人を多み(人が多いので)

ABみ ↓山寒み(山が寒いので)

Bみ ↓浅み(浅いので)

※「み」を「し」に変えて形容詞になれば
その「み」は「なので」と訳す